

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより

No.86

令和8年
8月発行

6月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
ふるさと長寿館の
みなさん

特集	うえのはらで頑張る人	2
	定例会で決まった主なこと	4
	議決結果等一覧表	6
	予算特別委員会	7
	会期中の審査	8
	一般質問	9
	閉会中の委員会活動	14
	高校生と議会との意見交換会	15
	市民の声	16



うえのはらで頑張る人 Vol.39 ふるさと長寿館のみなさん



健康長寿の里で有名な桐原地区にある「ふるさと長寿館」は、県内外から多くの利用者が訪れ、食事やお土産物、新鮮で安心して食べられる地元の農産物などを求めるお客様で賑わっており、地元の拠り所にもなっています。働く皆さんにお話を伺いました。

桐原のシンボルを

私たちが次世代へつなぎます

始めたきっかけは

■ JAFフレインが、令和4年3月末で業務を終了したため、地域の有志団体、未来プロジェクト会議が、令和4年4月1日から指定管理を受けて運営を行っています。

サービスの内容は

■ 主に食堂と売店です。食材には地元野菜や季節の山菜を使い、売店は地元新鮮野菜、酒まんじゅう、せいだのたまじ、山梨県産ワインや食品、お土産などを販売しています。

■ 2階のスペースは、会議や習い事などに利用できます。市の行事以外の利用は、使用料をいただいています。

■ 年間利用者は、食堂が約1万人、売店が2万人以上で、県



内外から訪れる利用者が多いです。

職場の雰囲気は

■ 長寿館が大好きで、スタッフが仲よく、明るく仕事をしています。

■ 食事後の帰りに、「美味しかった」と言ってくださることにやりがいを感じることができ、楽しいです。



■ 施設内の心地よい環境づくりを心がけています。また、地元スタッフ同士で色々とディスカッションができるので勉強になります。

今後の思いは

■ お客様を大切にして、また来てもらえるようなところになりたいです。

■ トンカツ定食やラーメンも人気がありますが、「手作りコロッケ」や「せいだもち」も食べに来て欲しいです。



■ 地元区長会と話し合い、今後の発展の具体策を考えていきたいと思いますが、全体の売り上げが3千万円までいけば安定した運営ができます。

自慢できることは何ですか

■ 長寿館を続けることで、地域の人が集まることのできるので、これからも大切な場所にしたいです。

■ 若いスタッフが頑張っているので、私たちが皆が頑張れます。

■ 昭和の時代に桐原は、「健康長寿の村」として全国に知れ渡り、平成8年4月25日に天皇・皇后両陛下が行幸啓され記念碑が建てられ、シンボルになっています。

■ 県外からのリピーターのお客様が多くてありがたいです。



議会や行政に望むこと

■ 獣害がひどく、生産者が減っているのので、地元の新鮮野菜を提供できるよう支援をしてほしいです。

■ お客様が来たくてもバスが無いので来てもらえない。地域の為の足となる様なコミュニティバスを考えてほしいです。

■ 材料、人件費の高騰が続く中で経営が厳しい状況は今後も続く。指定管理料を考えてほしいです。

■ 建物が既に34年経過し、エアコン等の設備が経年劣化しているので、交換してほしいです。



取材を終えて

「ふるさと長寿館」は、地区の拠り所で、野菜や商品売る人、買う人、食を提供する人、与える喜びなど仲間同士の絆が、しっかり根付いていることを感じました。長寿の里のブランド力、おもてなしの心等が随所に現れ、利用者への深い思いやりも強く感じました。

6月 定例会

定例会で決まった 主なこと

令和8年第2回定例会が6月4日から19日まで16日間の日程で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	28件
請願	3件
発議	3件
計	34件

※ 議案名・議決結果等は6・7ページをご覧ください。

条例 改正

議案第60号 上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

介護保険法施行令の一部改正

令和8年度の介護保険料について、市町村民税非課税世帯等で一定の要件を満たす「みなし課税者」を対象とした減免規定を新設し、本人申請なしで保険料を非課税者相当額へ減免するものです。

施行期日 令和8年4月1日

契約 締結

議案第66号 上野原市立小中学校教職員端末購入契約締結について

小中学校教職員の端末購入契約締結

令和元年11月に導入した教職員用端末を、教職員の業務効率の向上等を目的に更新するため、市が新しい契約を結ぶものです。予定価格が2千万円以上の動産の取得にあたるため議会で審議し、可決されました。契約については、条件付き一般競争入札でNTT東日本（株）東京事業部山梨支店と結んでいた仮契約が、この議決により本契約となります。

契約金額 5995万円

人事 案件

議案第67号 上野原市固定資産評価員の選任の同意について
議案第68号 議案第81号 上野原市農業委員会委員の任命の同意について

固定資産評価員の選任の同意 農業委員会委員の任命の同意

固定資産評価員
農業委員会委員

岡部 公史 氏	小俣 孝男 氏
古屋 一 氏	網野 和夫 氏
安藤 元司 氏	古家 勝夫 氏
石井 明文 氏	高橋 正 氏
高橋 範朗 氏	清水 峰子 氏
石井 太郎 氏	小俣 億学 氏
関戸 栄一 氏	加藤 友久 氏
	加藤 友久 氏

請願第1号

「原油由来製品不足・価格高騰における中小企業等への直接支援制度の創設と戦争終結にむけた有効な手立てを講じることを求める意見書」の提出を求める請願書

請願

国への直接支援制度の創設等を求める
請願

原油由来製品の不足・価格高騰が事業者の経営や国民生活に直接大きな影響があるため、国による全国一律の直接支援制度創設などを求める意見書の提出を求める請願書。

請願第2号

高額療養費制度の自己負担月額上限引き上げを含む改正案を抜本的に見直し、撤回を求める請願書

請願

高額療養費制度改正案の見直しを求める
請願

国会で審議中の健康保険法改正案の、高額療養費制度の自己負担上限額引き上げを含む改正案を抜本的に見直し、撤回を求める請願書。

請願第3号

ロキソニンやアレグラなど薬の追加負担を行わないことを求める請願書

請願

日常的に使われる薬の追加負担を求め
ない請願

政府がOTC類似薬の窓口負担とは別に「特別料金（薬剤の25%）」として追加負担を求めることを決めたことに、薬の追加負担を行わないことを求める請願書。

発議第1号

原油由来製品不足・価格高騰における中小企業等への直接支援制度の創設と戦争終結にむけた有効な手立てを講じることを求める意見書の提出について

発議第2号

高額療養費制度の自己負担月額上限引き上げを含む改正案を抜本的に見直し、撤回を求める意見書の提出について

発議第3号

ロキソニンやアレグラなど薬の追加負担を行わないことを求める意見書の提出について

発議

請願に基づき国に意見書を提出

請願第1号から第3号の採択に伴い、それぞれの意見書が可決され、国に提出しました。

令和8年第2回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案 件 名	天野 淳一	佐藤 澄男	清水 一明	安留 俊介	小俣 崇	内田 倫弘	八木 一雄	山口 薫	白鳥 純雄	遠藤美智子	川田 好博	東山 洋昭	杉本 公文	長田喜巳夫	審議結果
57	—	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第4号））	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠	●	○	○	○	承認

※ 賛否は原案に対するものです。

◆全会一致の議案

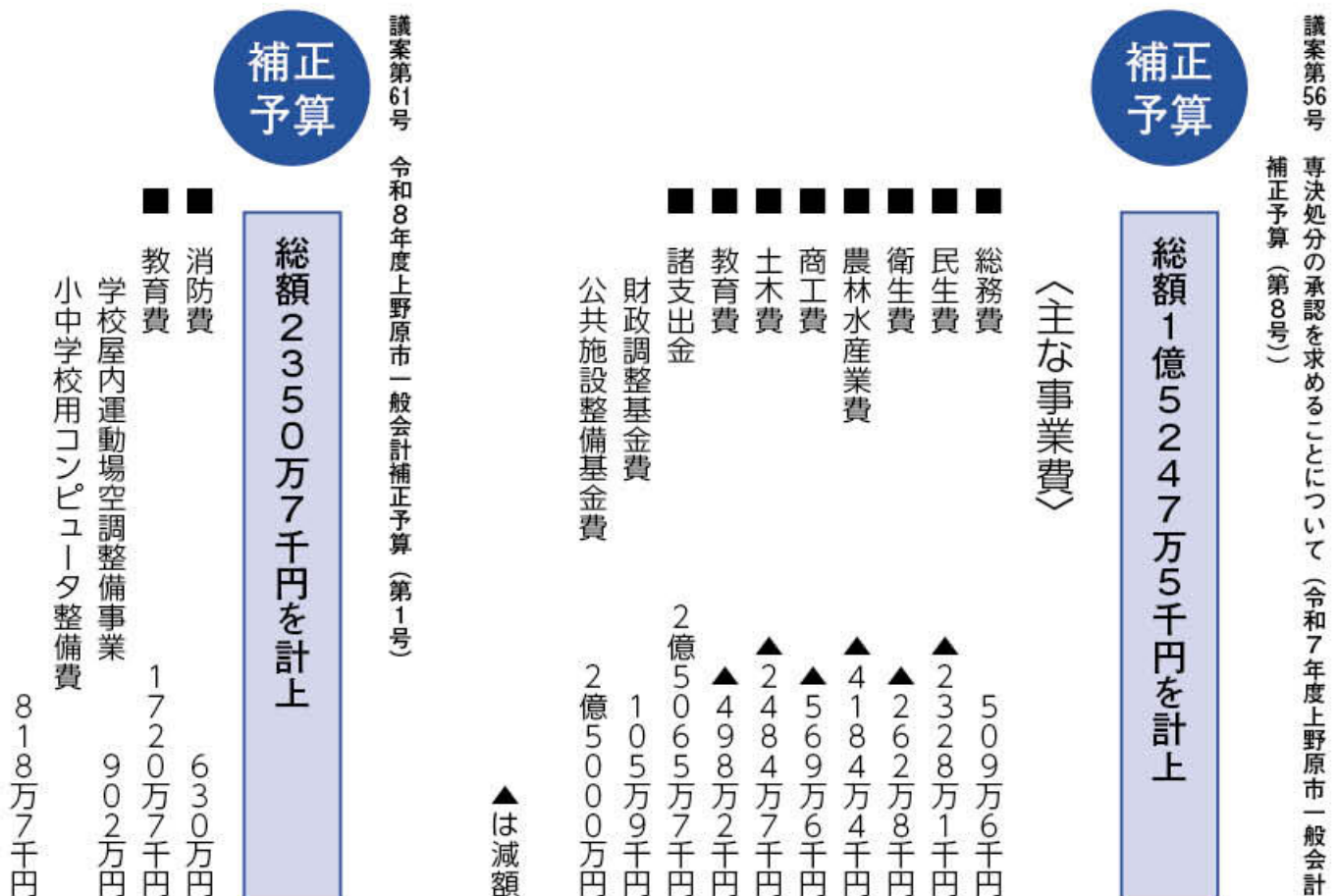
議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
54	—	専決処分の承認を求めることについて（上野原市税条例の一部を改正する条例制定について）	承認
55		専決処分の承認を求めることについて（上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）	
56		専決処分の承認を求めることについて（令和7年度上野原市一般会計補正予算（第8号））	
58		専決処分の承認を求めることについて（令和7年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号））	
59		専決処分の承認を求めることについて（令和7年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第4号））	
60	文教厚生	上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	可決
61	予算特別	令和8年度上野原市一般会計補正予算（第1号）	
62	—	令和7年度上野原市継続費繰越計算書の報告について	受理
63		令和7年度上野原市一般会計等繰越明許費繰越計算書の報告について	
64		令和7年度上野原市簡易水道事業会計予算繰越計算書の報告について	
65		令和7年度上野原市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	
66	文教厚生	上野原市立小中学校教職員端末購入契約締結について	可決
67	—	上野原市固定資産評価員の選任の同意について	同意
68		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
69		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
70		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
71		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
72		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
73		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
74		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
75		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
76		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
77		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
78		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	

令和8年第2回定例会議決結果等一覧表

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
79	一	上野原市農業委員会委員の任命の同意について	同意
80		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
81		上野原市農業委員会委員の任命の同意について	
請願1	総務産業	「原油由来製品不足・価格高騰における中小企業等への直接支援制度の創設と戦争終結にむけた有効な手立てを講じることを求める意見書」の提出を求める請願書	採択
請願2	文教厚生	高額療養費制度の自己負担月額上限引き上げを含む改正案を抜本的に見直し、撤回を求める請願書	
請願3		ロキソニンやアレグラなど薬の追加負担を行わないことを求める請願書	
発議1	一	原油由来製品不足・価格高騰における中小企業等への直接支援制度の創設と戦争終結にむけた有効な手立てを講じることを求める意見書の提出について	可決
発議2		高額療養費制度の自己負担月額上限引き上げを含む改正案を抜本的に見直し、撤回を求める意見書の提出について	
発議3		ロキソニンやアレグラなど薬の追加負担を行わないことを求める意見書の提出について	

※ 「一」は委員会付託が省略された議案です。

予算特別委員会



総務産業常任委員会

委員長 東山洋昭
副委員長 佐藤澄男
委員 小俣 崇
八木一雄
山口 薫
杉本文夫
長田喜巳夫

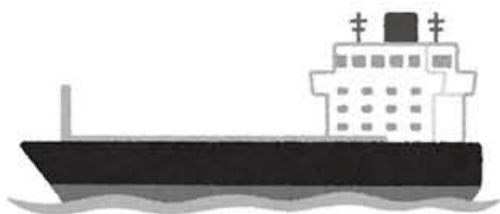
6月10日、委員7名出席のもと、委員会を開催しました。付託されました案件は、請願1件です。

紹介議員に説明を求め、慎重に審査した経過と結果について報告いたします。

請願第1号「原油由来製品不足・価格高騰における中小企業等への直接支援制度の創設と戦争終結にむけた有効な手立てを講じることを求める意見書」の提出を求める請願書の趣旨は、中東情勢に端を発した、原油や原油由来製品の不足及び価格高騰が、事業者の経営や国民生活に直接大きな影響を与えているため、国による全国一律の中小企業等の事業継続に対する直接支援制度の創設と、根本解決となる戦争終結に向けた有効な手立てを講じるよう、政府関係機関に意見書の提出を求める内容であります。

当委員会における審査では、

特段の質疑や意見の開陳^{かいせん}はありませんでしたが、請願の趣旨は妥当であると認め、採決の結果、全会一致で採択すべきものと決定しました。



文教厚生常任委員会

委員長 清水一明
副委員長 川田好博
委員 天野淳一
安留俊介
内田倫弘
白鳥純雄
遠藤美智子

6月10日、委員会を開催し、付託された条例制定1件、契約締結1件、請願2件について審査しました。

議案第60号「上野原市介護保険条例の一部を改正する条例制定について」は、市町村民税非課税世帯等で一定の要件を満たす「みなし課税者」を対象とした減免規定を新設し、保険料を非課税者相当額へ減免するものです。

議案第66号「上野原市立小中学校教職員端末購入契約締結について」は、端末の劣化やスペック不足などの課題が生じているため更新を行うものです。なお、本件については、条件付一般競争入札の結果、NTT東日本株式会社と仮契約を締結しており、議会の議決を求めるものです。

以上、当局提出2案件について採決を行った結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。



た。

請願第2号「高額療養費制度の自己負担月額上限引上げを含む改正案を抜本的に見直し、撤回を求める請願書」については、全会一致で採択すべきものと決定しました。

請願第3号「ロキソニンやアレグラなど薬の追加負担を行わないことを求める請願書」については、反対意見が出されたため起立採決の結果、採択すべきものと決定しました。

各議員の主な質問項目

【小俣 崇 議員】

- 1 ごみの総量は減少、処理費の負担は増加について
- 2 障害を持つ人への支援サービスについて

【川田好博 議員】

- 1 市民のくらし
- 2 中高一貫教育

【白鳥純雄 議員】

- 1 だれもが住み続けたい街づくり
- 2 物価高騰対策の現状について
その他

【長田喜巳夫 議員】

- 1 まちづくりの推進について
- 2 地域資源の活用について
その他

【東山洋昭 議員】

- 1 市観光振興審議会条例について
- 2 八重の音(ね)と八重山展望台について
その他

【安留俊介 議員】

- 1 人口減少対策
- 2 中高一貫教育
その他

【杉本文 議員】

- 1 物価高騰対応支援交付金事業について

【八木一雄 議員】

- 1 「上野原中高一貫教育」導入と、その先を見据えて
- 2 「上小グラウンド」更なる開放の充実に向けて
その他

【山口 薫 議員】

- 1 ゼロカーボンシティ推進に向けた包括連携協定等について
- 2 防災対策について
その他

ごみの総量は減少、
その処理費の負担は増加

質問

答弁

市は、これ迄ごみの減量に向けて多様な取り組みを進めてきました。その対策とその成果について伺います。

質問

答弁

過疎地域に指定され、ごみの総量が15%減少したものの一人当たりのごみ処理費は、45%増となっており、この現状について伺います。

ごみの総排出量は、17・38%減、一人当たりの処理費用は、48・98%増加となっています。背景には、人口減少によるごみの排出量の

質問

答弁

減少や各種リサイクル関連法の制定等により、排出抑制に繋がったものの、処理費は、施設の老朽化等が要因と考えています。

ごみ処理施設の広域化・集約化が進められている状況を踏まえ、ここで改めて広域化に向けた経過を伺います。

循環型社会の形成に向けて、ごみ処理広域化の推進と連携体制の構築を掲げ推進しております。新施設整備は、令和8年8月に入札公告を行い、翌年6月に本契約を締結し、令和14年度の稼働を目指して進める状況です。



小俣 崇



地域公共交通の利便性を



川田好博

質問

路線バスに頼る地域、デマンドタクシーに頼る地域とはつきりと分けて考えるべきではないか。

答弁

それぞれの役割を明確にするということが重要であると認識しています。今後も持続可能な地域公共交通の維持に努めていきます。

質問

地域公共交通を考える場合、域内だけの利便性だけでなく、甲府や首都圏とのつながりも考慮すべきと考えるが。

答弁

域内交通と広域交通をシームレスにつなぐことは、重要な視点であるので、今後の交通計画の見直し等でも十分に検討していきます。

質問

それならば、デマンドタクシーの上野原駅乗り入れができないのは疑問に思う。買い物や通院などに利用しやすい公共交通機関の整備が必要ではないか。

答弁

既存サービスを有効に活用



しながら住民のみなさんが安心して通院や買い物ができる環境の整備を関係するところと連携を図りながら、地域の特性に応じたあり方を検討していきます。人口が集中している地域については、深夜バスなど路線バスの利便性を高めることが必要ではないか。

市民から要望されていることは、承知しています。しかし、夜間の利用者は少なく、運転手不足や働き方改革への対応が喫緊の課題となっています。事業者との対話を今後も継続し、持続可能な運行ダイヤについて検討していきます。

答弁

質問

質問

地域の特性を活かした拠点づくりの支援対策について伺います。

答弁

それぞれの地域の実情に合わせた拠点、地域活性化や農業、地域産業の振興拠点、安心して住み続けられる拠点形成に取り組めます。物価高騰重点支援策は、全世帯に対しての支援策だったのか伺います。

質問

全ての世帯に同じ形、同じ金額で支援が直接届いたというものではなく、全世帯が何らかの形で支援を受けられるよう制度設計に努めました。

答弁

支援が行き届かなかった家庭があると思いますが、その家庭に対する支援策はあるのか伺います。

質問

今後は、より公平で実効性のある支援策を検討し、全世帯に広く届く支援、必要な方に必要な支援が届くように努めます。

答弁

今後は、より公平で実効性のある支援策を検討し、全世帯に広く届く支援、必要な方に必要な支援が届くように努めます。



だれもが住み続けたい街づくり



白鳥純雄

意見

デジタル技術を活用してプッシュ型支援を私は推奨します。また、公平に現金給付を進めるべきです。

質問

防犯カメラの設置状況と、国庫補助金を活用しての取り組み状況を伺います。

答弁

市立小学校4校に合わせ30台、市立中学校3校合わせて18台を設置済みです。不法投棄防止監視カメラ付き街路灯4台を設置し、自治会からの相談を受け補助事業を活用し3台のカメラ設置の支援も行いました。

他に、子どもを増やす取り組み、熱中症対策について質問しました。

観光振興について

質問

高尾山、リニア広域観光拠点地区連絡会に加入するとしていたが、現在の状況は。

答弁

令和7年度から加入し高尾山をはじめ自然やリニア開通による新たな観光資源など、各市の魅力を共通項目としてリンクさせ、情報発信や観光イベントの開催等により都心部から各市へ誘客を図る活動をしています。

質問

大多摩観光連盟との連携について再三取り上げてきているが、現在の状況は。

答弁

現在のところ進展していません。直接沿線で繋がっていない地域同士がどう広域連携を図れるかが課題です。裏のルートを開発すべきと考える。奥多摩、丹波山、

意見

小菅、西原、桐原から上野原インターへと繋がる山間地ルートであり、沿線には道の駅、びりゅう館、ミューの森、長寿館などの休憩施設がある。地域振興のため

質問

広域的に繋がりを進めていくべきである。①上野原駅南口の賑やかさの推進②幸楽苑閉店後の状況③活性化施設への観光案内所等の看板の設置は。

答弁

①は駅前マルシェやジオツアー開催時等にプチマルシェを開催しています。②はDCM株とファミレスなど誘致できないか相談しています。③は現在設置に向けて、山梨県屋外広告条例により表示できる大きさや色について検討しています。

他に、まちづくりの推進、地域資源の活用、人口減少について質問しました。



長田喜巳夫

質問

昨年6月定例会で、八重山展望台上の鐘の愛称募集について質問しました。市はその後、上小6年生に愛称を募集し、今年2月に決定がされたと聞いています。

答弁

校長先生と担当の先生から募集時のお話を伺いました。水越八重さんの上小の教育施設の整備を図っていただきたいとお気持ちから、土地を市に寄贈され、現在まで学校施設の整備や学校林として校外学習を実施しています。その思いと感謝の気持ちを児童に継続して発信していきたいと思っています。担当の先生からは、「八重の音」を考えた児童に、仲間たちから「いい名前だね」と喜んでくれたということも伺いました。今後どのような方法でこの「八重の音」の愛称周知を図っていくのか。

答弁

八重山が整備されてから15

八重の音（ね）とは

意見

年以上が経過する中で鐘の愛称がなく、今以上に八重山に訪れる方々に親しみをもってもらえるように、学校林活動をされている上小6年生全員の児童に愛称を募集しました。7月の広報うえのはらに掲載し、市民の皆様にお伝えしていきます。



東山洋昭

中高一貫教育 プレミアム付きデジタル商品券



安留 俊介

質問

上野原高校と市内三中学校の中高一貫教育が来年度から始まるが、生徒や保護者への説明は。

答弁

実施していないが、検討委員会などの検討状況を見ながら情報を開示し、議論を深めていきたい。

意見

まずは、生徒や保護者に説明し、その意見や要望を検討委員会での検討に加えるべきではないか。

質問

プレミアム付きデジタル商品券は4時間ほどで完売、販売中止となっていました。市にはどんな意見や苦情が寄せられ、今後、どのような対応を行うのか。

答弁

「スマホを持っていない人は対象にすらない」、「なぜ多くの市民に行き渡るようにしなかったのか」、「広報がわかりづらい、情報が少ない」などの指摘をいただき、今後実施する場合は、購入上限口数やプレミアム

意見

率、事業周知などを改めて見直す必要があるが、利便性や安全性などデジタルの有効性は否定できないものと考えています。

市の公式ラインへの登録者数は7453人で、決して多いとは言えず、「スマホを持っていない人、そして、持ちたくない人」、「ペイペイを使えない人、そして、使いたくない人」なども大勢います。デジタル化の推進においても、「誰一人取り残さないまちづくり」の徹底をお願いします。

他に、人口減少対策について質問しました。



物価高騰対応支援交付金事業 デジタル商品券の公平性に問題は



杉本 公文

質問

1口、5千円で、2万口のデジタル商品券は、販売開始から4時間で完売、多くの希望者が購入できなかったが、平等や公平性の見地から問題があったのでは。

答弁

商品券を購入できたのは、2137人で、多くの方に行き届かなかったのは課題とする部分で、今後は、より多くの方が購入できるよう購入上限口数や40%のプレミアム率、事業周知、相談体制などを含め見直すべきと考えています。

質問

購入者は、12歳以上が対象で市民の10%程で少ない。市民から意見や苦情は。

答弁

スマホを持っていない方からの不満、仕事されている方から販売開始時間等への不満、市民に多く行き渡らなかつた事への不満、広報や情報が少ないなどの、意見や不満が多く寄せられた事は、それだけ、市民の皆

質問

様からの注目度や関心の高さを表すものと受け止め、今後の参考とします。

答弁

事業の検証をすべきでは。

答弁

今後、迅速な給付には、DX推進は欠かせないと考えていますので、山梨県の中身などを確認しながら検討したいと思っています。



上野原高校中高一貫教育の導入と将来像



八木一雄

質問

上野原高校中高一貫教育の導入が連携型で決定。今後県教委と市教委との協議が開始されます。この機会に導入の検討だけにとどまらず、上野原高校の「将来像（構想）」を伺います。

答弁

子どもたちが「学びたい」と思う教育環境を創ることが重要。現在の総合学科の良いところを更に進化させ将来の進学や就職に向け、期待の持てる学科の創設など、県教委と協議を進めていきます。

質問

例えば、提案ですが上野原高校の医療・看護系プランを発展させ県内の医療・看護系学科を持つ大学との連携による人材の育成です。

答弁

上野原高校の魅力化、地域の拠点を指す上でも医療・看護系を学科として新設できないか伺います。現在、上野原高校で行われている医療・看護系を指す

質問

す生徒のための、医療・看護系プランを発展させ、県内の医療系大学との連携により、専門人材の育成に取り組むことができれば上野原高校における特色ある教育の大きな柱となり、同時に強いところを更に強くすることにも繋がり、将来の展望をしっかりと見据えられます。中高一貫教育の効果により一層高めるようにしっかりと協議を進めていきたいと思っています。

他に、「上小グラウンド

開放の更なる充実」、「アーカイブルームの開室1年」を質問しました。

質問

市はゼロカーボンシティを宣言し、民間事業者と包括連携協定を結ぶ等着実に事業を進め、県内外から環境行政に対し高い評価を受けています。現状の連携状況と、今後の施策について伺います。

答弁

民間技術を活用し電気自動車充電インフラ整備、再エネ（風力由来）電力供給、Jークレジット活用による環境価値創出等で連携しています。今後も官民連携によりカーボンニュートラル実現と持続可能な社会構築に向け取り組んでいきます。市民が土・日等に防災相談や防災訓練の指導及び問い合わせをしたい場合、どこ

答弁

の課が対応しますか。事前に要請があれば、休日でも担当課が相談対応など地域に出向きます。なお、自主的な活動として「防災リーダー支援の会」等が、

地球温暖化や大規模災害から

市民を守る政策等について



山口 薫

質問

防災相談や訓練指導等を進めています。このような団体があることを市民に周知し、市民の防災意識向上の一助になっていただけたことを期待しています。

質問

大規模災害が発生し庁舎に物的・人的被害があった場合、災害対策本部開設前に消防計画による活動を行うが、その任務確認や訓練は実施していると思うが。

答弁

人事異動の際に任務の変更が生じるため、計画に基づいた訓練等を実施していくことが大切です。各職員が発災時に任務が遂行できるよう今後も訓練を通じ確認していきたいと思っています。



総務産業常任委員会

委員長 東山洋昭
副委員長 佐藤澄男
委員 小侯 崇
八木一雄
山口 薫
杉本公文
長田喜巳夫

令和8年5月19日、委員6名と生活環境課職員、議会事務局職員同行のもと、群馬県館林市の館林衛生施設組合（以下組合という。）を訪問し、「ごみ処理に関する契約等について」視察調査を行いました。

今回は、文教厚生常任委員会と合同での実施となり、それにより多角的な観点からの学びと意見交換が可能となったと認識できました。

視察調査では、組合が運営管理する「たてばやしクリーンセンター」、一般廃棄物最終処分場の「めいわエコパーク」、リサイクル施設の「いたくらリサイクルセンター」、そして、し尿処理施設の「館林環境センター」について、各施設の役割と機能、地域資源の有効活用と環境への負荷軽減などの取り組み等ご説明いただき、直に確認する機会を得ることができました。また、災害時における対応

と体制の状況、情報資産を保護するための情報セキュリティ対策の現状、職員の福利厚生に関連する特定事業主行動計画の取り組みなどについても伺いました。

今回の視察で得られました、貴重な知見や先進事例は、本市の今後のまちづくり、特に、持続可能な循環型社会の実現、そして、職員の働きがい向上に向けた施策を推進していく上で、非常に参考になるものでした。



たてばやしクリーンセンター

文教厚生常任委員会

委員長 清水一明
副委員長 川田好博
委員 天野淳一
安留俊介
内田倫弘
白鳥純雄
遠藤美智子

令和8年第1回定例会で議決した閉会中の継続調査として、廃棄物処理について5月19日に総務産業常任委員会と合同で、埼玉県館林市外3町で構成された館林市衛生施設組合が運営する施設の調査を行いました。

調査先は、ごみ処理施設「たてばやしクリーンセンター」、焼却灰等を埋立処分する「めいわエコパーク」、粗大ごみ等を破碎して資源物を回収する「いたくらリサイクルセンター」、並びにし尿処理施設「館林環境センター」の4つの施設です。各施設とも、最新の技術が導入されていました。

高度な技術を活用した持続可能な廃棄物管理が求められている中で、先進的な技術の導入は不可欠であり、地方自治体に課せられた責務として、その最適化に向けた取り組みが求められていると強く印象に残りました。また、各施設における環境保

護の観点からの取り組みがいずれも市民との連携を基盤として運営されておりこの重要性を再認識しました。

今回の合同視察では、廃棄物処理という市民生活に不可欠な行政課題に対して、より多角的な視点から学びました。さらに共通認識を深め、貴重な意見交換を行い有意義な機会となりました。

視察に帯同した担当部署には、委員会から先進的な取り組みを参考として、持続可能な社会の構築に向けて、有効な環境政策に取り組むことを要望しました。



し尿処理施設

私たちが、今住んでいる地域に望むこと

令和8年3月23日（月） 上野原高校 文化ホール

上野原高校の生徒との意見交換会を行い、私たち議員が思っている以上に商店街の空き店舗や気軽に利用したいお店が少ない事、電車やバスの通学上の不便さ、学校以外の学習場所、居場所のない事での生きづらさや、通学路上の危険を感じながら高校生活を送っていることに気づかされました。
主な生徒の意見を報告いたします。

●高校生からの主な意見

- 電車とバスの本数を増やし、生徒が利用しやすくしてほしい。
- 通学路の整備。特に街路灯を増やし足元を明るくしてほしい。
- 商店街の活性化をして、ファミリーやマックなど気軽に入れるお店がほしい。
- 放課後利用できるように図書館の終了時間を延ばしたり、学校以外で勉強のできる場所がほしい。
- 駅前に気軽に入れるお店がほしい。



表彰

全国市議会議長会表彰

在職15年



東山洋昭 議員

●成果と今後について



普段の議会活動では接点の少ない高校生のニーズを直接聴取できたことは、議会としての気づきが多く、非常に有意義でした。
今回の意見交換でいただいた率直な意見は、今後の議会活動における大切な財産となりました。貴重な声を全議員で共有し、日々の調査研究や市政への取り組み等、今後の活動に活かしていきたいと思っています。

アートの力を活かせる上野原市

市民の声



アーティスト
清水愛子さん

東京から上野原に移住し早36年が経ちました。二人の息子達の子育てに自然豊かな上野原が気に入って家を建てました。自宅で絵画教室を開催し、中学・高校の美術講師を23年間勤め、63歳で大腸ガンステージ4と宣告され、全ての学校を辞めました。あれから2年半、今年5月市役所ギャラリーで個展を開催しました。売上を赤字の病院に寄付させて頂きました。昨年7月には、トンネルアートフェス2025を開催し多くの皆様のご協力と、ご理解を頂き上野原市ならではのイベントになりました。アートを通じて地域が活性化し、交流する事で新しい何かが生まれ生き甲斐を感じるきっかけになれば幸いです。これからも、命ある限り、私自身がワクワクする事を続けて生きたいと思います。自然豊かな上野原市は、創造力や発想力を刺激するアートに最適な環境だと思います。現在3度目の手術で根治を目指しています。

9月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
8/30	31	9/1	2	3	4	5
		本会議 (初日) 傍聴可	議案調査	委員会 予算特別	議案調査	
6	7	8	9	10	11	12
	委員会 総務産業 文教厚生	議案調査	委員会 決算特別	委員会 決算特別	議案調査	
13	14	15	16	17	18	19
	委員会 決算特別	議案調査	本会議 一般質問 傍聴可	本会議 一般質問 傍聴可	本会議 一般質問 (予備日) 傍聴可	
20	21	22	23	24	25	26
	敬老の日	国民の休日	秋分の日	議案調査	本会議 (最終日) 傍聴可	

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

編集後記

6月は梅雨の季節。梅雨明けは7月中・下旬か。既に夏日は観測しているが、この時季から真夏にかけては毎日がじめじめとして蒸し暑い高温多湿の日が続く。汗が蒸発しにくく、体内の水分や塩分のバランスが乱れて体調を崩しやすい。

こまめな水分補給や休息など熱中症や感染症も含めた対策に抜かりの無きよう用心して、健康に留意してこの季節を明るく乗り切りたい。

6月定例会も閉会し、開かれた議会、身近な議会広報ツール「議会だより」を皆様にお届けします。議会での各議員の活動や委員会の審査内容等を読者の皆様にご理解いただければ幸いです。これからもより身近な、そして、わかりやすい市議会だよりを目指してまいります。

(八木一雄)



YouTube
QRコードです



議会だよりの
QRコードです



広報広聴常任委員会

委員長	白鳥 純雄
副委員長	遠藤美智子
委員	八木 一雄
委員	山口 薫
委員	東山 洋昭
委員	杉本 公文
委員	長田喜巳夫